

**行田市 市民活動  
サポートセンター通信  
～第76号～**

**発 行 行田市市民活動サポートセンター**  
**〒361-0052 埼玉県行田市本丸 5-10**  
**(コミュニティセンターみずしろ1階ギャラリー内)**  
**T E L 048-598-8616**  
**E メール gyodashi-saposen@bz04.plala.or.jp**  
**開 所 日 毎週月・火・木～土 午前9時～午後5時**  
**(コミュニティセンターみずしろの休館日及び日曜日を除く)**

## 市民活動ウィークぎょうだ 2025 催し物いろいろ

参加しよう！地域づくり できる・生まれる・シビックプライド



令和 7 年 11 月 7 日（金）から 13 日（木）まで、行田市コミュニティセンターみずしろでは、市民活動ウィークぎょうだ 2025 が開催されました。初日 7 日（金）には、参加しよう！地域づくり できる・生まれる・シビックプライド「担い手塾」が公益財団法人いきいき埼玉との協働で開かれ、埼玉県市民活動コーディネーターで NPO 法人川越きもの散歩代表理事藤井美登利さんを迎えて、行政・NPO・企業・市民が協働した事例を 3 団体が発表し、後半には参加者交流の時間が持たれました。

<b>発表 内容</b>	行田市農政課	市民との「協働」田んぼアート米づくり体験事業について
	行田市地域共生社会推進課	地域の力から課題解決・居場所づくり ～誰もがつながる地域共生社会～
	株式会社ナスタ	Nasta My Action 社会貢献事業

会期中、ギャラリーでは市民活動パネル展示が開かれ、27団体の掲示物が展示されました。また、「市民活動の森」が登場し、フセンに意見を書き込んだ方もいました。

8 日（土）には、行田ほんご教室が「習字体験会」を開催しました。指導は、彩 art co. lab 小薗江美蓮さんで、外国人の皆さんがあちわに筆で書いていました。

13 日（木）には、3B 体操による「体操作体験会」が開かれ、参加者はボール、ベル、ベルターの B が頭文字の 3 つの道具を使って身体を動かしていました。

## 市民活動やる気応援成金 令和7年度第1期3団体採択決定

令和7年度第1回行田市市民公益活動推進委員会が10月20日（月）開催されました。委員会では行田市市民活動やる気応援成金提案書の第1期審査が行われ、3件の申請に対し3件とも採択されました。

まちラボ行田は「新たな取組応援事業」として、HISAIZU アートプロジェクトと（公社）行田青年会議所は今年6月新たに創設された「若者応援事業」での申請でした。いずれの団体も斬新で、行田市に新たな活気をもたらすことが期待できます。内容については下記のとおりです。

団体名	まちラボ行田	HISAIZU アートプロジェクト	公益社団法人 行田青年会議所	やる気 応援 助成金 ご案内
事業の名称	ローカルブランドギフト事業	HISAIZU芸術祭	価値を見直す力～ガラクタを宝物に変える共創プロジェクト	▼ 
目的・概要	行田市産品・体験のローカルブランドギフトカタログの展開による新しい地域モデルの確立を目指す。	歴史的・文化的価値を持つ神社を会場として、芸術文化を通じて様々な交流を目指し文化振興を図る。	公共物のアップサイクル実験・廃校の備品活用（共創モデル）。また行田の文化的価値の経済循環と発信。	

市民活動やる気応援成金は、市民の「やる気」を応援しています。助成率、上限額など詳しい内容につきましてはサポートまでお問合せください。

今年度第2期提案書受付は12月6日（土）が締切です。事前相談を受けますので、提出書類を揃えていきましょう。

### ものつくり大学「碧蓮祭」へ公益活動推進チーム出展

ものつくり大学学園祭「碧蓮祭」（10/25～26）が開催され、行田市市民公益活動推進委員会公益活動推進チームが10月26日（日）初出展しました。当日は小雨で肌寒い天候ながら、皆で意見を出し合い和気あいあいと準備。「市民活動の森」は果実（項目名）が貼付されたかわいい3本の樹木（段ボール製）。その「森」と資料等を人の流れを確認しながら配置。マジック愛好会の方による楽しいマジックとくじ引きで、公益活動をPRしつつ、興味関心のある項目（果実）のところにシール、またフセンに様々なご意見を多数頂きました。市民活動への関心を少しでも持ってもらえたと期待しつつ有意義な一日となりました。推進チームの皆様には大変ご尽力いただきましたこと、感謝いたします。



行田市市民公益活動登録団体一覧 ⇒

